

2022(R04).10.13 (木) 作成者： 内田

### 第3回スキルアップ委員会議事録

1 日時 10月10日(月) 19:30~21:20

2 場所 菩提寺まちづくりセンター

3 出席者 12人

スキル委員出席8名： 内田(夏見)、中村(針)、川上(みどりの村)、竹澤(サイドタウン)、高畑(朝国)、築山(大谷)、西谷(桐松)、岸田(湖南工業団地南)

役員出席 1名： 曾我部会長

欠席 4名： 原田(妙感寺)、松原(石部南)、青木(正福寺)、上西(下田西)

4 次第

配布資料 本日のレジュメ(事前配信)

(1) 議事録作成者 今回は内田(夏見) 次回は青木(正福寺)

(2) 報告 事業推進これまでの結果 委員長(竹澤)

① 普通救命講習(技能講習) 於：菩提寺まちづくりセンター

・第4回 8/21(日) 13~16:00 9人

・第5回 9/11(日) 13~16:00 10人

(3) 協議 今後の事業計画について 委員長(竹澤)

① 普通救命講習・湖南省防災士育成事業(技能講習)

於：菩提寺まちづくりセンター 多目的ホール

・第6回 10/16(日) 13~16:00 10人

・第7回 11/27(日) 13~16:00 10人

\* 受講者は、湖南省防災士育成事業:今年度新規防災士受講者14人及び全会員未受講者に呼び掛けて先着順に6人加え、計20人

② Zoom 研修会（技能講習）講師：川上委員 於：菩提寺まちづくりセンター

- ・ 11/10（木） 19:30 ～ 21:00
- ・ 11/11（金） 19:30 ～ 21:00
- ・ 11/13（日） 10:00 ～ 12:00
- ・ 11/13（日） 13:00 ～ 15:00

場所は 各日とも菩提寺まちづくりセンター 中会議室 2

今回は防災士に限定せず、9月の区長会において43区長に対し、広く「各区の区長、自治会長、防災関係役員にも“Zoom 研修会”と“地震災害講演会”の参加」を呼び掛けています。

[Zoom 研修会（技能講習）に関する協議内容]

- Zoom 研修会は開催日毎の参加者の把握は必要かと考えます。
- 事前登録について、各区長さんに依頼をしている。
- 防災士の方へは長井さんより、9/14のメールにて連絡。現在、確認すると保存期限が切れ確認できない状態になっている。
- 各委員会で実施予定の内容を、防災士のホームページで公開して情報発信を積極的に実施してほしい。各委員会でホームページに掲載できるスキルの方を育成する。

③ 地震災害講演会（第1回スキルアップ研修会）

・日時 11月20日（日）10:00～11:30

・場所 主会場：菩提寺まちづくりセンター 多目的ホール

（機器調整担当：川上）

（会場担当 責任者：松原、青木）

サテライト①：サンライフ甲西 2F 大ホール

（機器操作担当：市危機管理室員）

（会場担当 責任者：内田、高畑）

サテライト②：水戸まちづくりセンター

（機器操作担当：岸田）

（会場担当 責任者：西谷、中村）

- ・講師 2人 自衛隊草津地域事務所 佐々木 真（下田出身 陸自1等陸尉）  
自衛隊草津地域事務所 植田いづみ（湖南市担当 広報官）

- ・連絡会で新たに購入した Zoom 機材のお披露目を兼ねる。
- ・開始 45 分前(08:45 分)に主会場サテライト 2 会場の機器テスト、通話テストを行う。
- ・前回の反省から、講演会資料が手元にないと受講生の盛り上がりが見られないので、是非、サテライト会場には資料を配布して欲しい、との要望に沿い折衝中
- ・費用 日当、旅費要らずとのこと。手土産代見込み 7,000 円

#### ④ 湖南省保健センター保健師に対する救命研修会

- ・日時 10 月 14 日(金) 09:30 ~ 11:30
- ・場所 湖南省夏見 湖南省保健センター(地域包括支援センター)
- ・受講者 保健師 20人
- ・スキルアップ委員の支援要請 4 人  
AED 体験セット一式 5 体を使って20人が体験する為、支援をお願いします。  
支援スキルアップ委員の方は、ビブスを着用、「連絡会」を PR します。

[湖南省保健センター保健師に対する救命研修会に関する協議内容]

- 現在の支援参加者予定は 3 名、曾我部会長、福嶋福会長、市役所危機管理より清水係長。

#### ⑤ 長野上田市と菩提寺まち協との防災連絡会(第 2 回スキルアップ研修会)

- ・菩提寺まち協(担当:川上委員、粟津副会長)と上田市防災士等連絡協議会会長の間で講演会の内容、日時等調整中

#### ⑥ 先進地視察

- ・視察先 2 ヶ所 人と防災未来センター(神戸市)  
兵庫県広域防災センター(三木市)
- ・計画では 10 月 現状コロナ蔓延中であり、実施時期について協議を。

[先進地視察に関する協議内容]

- コロナ感染を気にしていたら、先進地視察の実行は困難ではないか、現状、11 日から旅行の支援も始まっていく中で、視察を中止としている判断基準を示す必要があるのではないか。また、どういうレベルなら実行可能になるのかを示すべきだろう。
- 感染対策でバス 2 人座席に 1 人とした、バスの中での会話が出来ない状況、飲食もできず、会話もできない状況で、研修の効果があるのか。

●全参加者 9 名の意見を表明して貰ったうえで、賛否を取ったところ、実施に賛成 4 名、反対が 5 名と拮抗した。

●委員会の結論集約

視察研修は、現状、滋賀県と視察地の兵庫県の「警戒レベルが 2」なので実施しない。両県の「警戒レベルが 1」になったら、計画し実施する。

(5) 協議 来年度の事業計画(案) 委員長(竹澤)

○ 来年度には、幹事の大幅入れ替えが想定されており、役員会から現幹事の下で「事業計画」等を作成しておこう、との方針が示されております。

① スキルアップ技能講習会(必須としての救命講習)

\* 救命講習は消防の再開を受け、早期に。受講は30人まで 4月

\* 応急手当普及員体制確立(受講可能)となれば、消防が提示する時期

\* Zoom 研修は、講演会行事の前が有効

◎救命講習 課題

・消防署救急隊による普通救命講習 I は、年間、1事業所 30人までが上限。

一方、湖南市防災士連絡会会員は、現在 283人+新規14人 計 297人。

・現時点でも 300 人の全会員が受講できるには、10年掛かる、ことになる。

しかも今後も湖南市では、防災士育成が見込まれる。

・とりあえず、消防の救命講習が再開されたら、真っ先に「連絡会」の新任幹事 30 人に対する講習会を受講できるよう、湖南市消防署との連携を図る。

・また、湖南市の防災士育成事業については、特別枠で講習を、湖南市から消防署に要請する必要がある。

●防災士に、「必須としての救命講習」を担保するには、連絡会の中で「応急手当普及員」を育成し、自前で普通救命講習 I が開講できる体制を作ることが必要。

●現状で有れば、「救命講習の積極的な受講」と「救命講習の自己啓発」とすべきではないか？

自己啓発は、YouTube 等で救命講習動画が沢山配信されているし、消防庁の WEB 講習を活用できる。(委員会で情報提供・発信していけばクリアできる)

●応急手当普及員体制確立の難点(課題)は、講習時間が24時間、消防指定の日時で受講しなければならないこと。受講希望者が時間を確保できるかが課題

\*本年8月に湖南中央消防署に対し、来年 4 月以降、防災士連絡会で応急手当普

及員10人の養成・受講が可能か否か、照会中

- 仮に、10人の応急手当普及員の確保、体制確立を図るにはどうするか？  
例えば 7まちづくり協議会から各1人で7人、あと3人は全会員から募集、あるいは湖南市役所、社会福祉協議会等、需要が多い団体・事業所の防災士から推薦を受ける、ことが可能か？ 要検討
- 「連絡会」に「10人の応急手当普及員」がおれば、300人の防災士に対する救命講習が「必須として可能」でし、各区・自治会から「連絡会で普通救命講習Iを開講して欲しい」との要請が有れば、「連絡会」のヒブスを着て出前講習することで市民にも大いにPRできる。 要検討

[◎救命講習 課題に関する協議]

会議時間超過で十分協議できなかった。

- 応急普及手当普及員を「連絡会」で養成せず、民間で実施している救命講習を活用してはどうか。
- 民間で実施しているのは、セコム、赤十字、アルゾック等があるが、何れも経費が必要である。
- 「連絡会」に「応急手当普及員」を確保するのは、効果が大きいので検討して行くことは今後の課題と思われる。

◎Zoom 研修会（技能講習） 講師：川上委員

- ・ 会員が受講できるのは勿論、主催できる（ホストとなれる）ように。
- ・ そのための技能講習日時を計画する。
- ・ 滋賀県危機管理局では、毎月一度「防災カフェ」をオンライン（Zoom）で開講しており、防災士がこれに登録すれば、毎月、自宅で各種災害に対する講演会が受講でき、自己啓発でスキルアップを図ることができる。

② スキルアップ研修会（講座 講習会など）

\* 実施時期は、9月と2月の2回開催

◎講師 派遣

- ・ 滋賀県 講師：地域防災アドバイザー（各種災害・課題に対応している）
- ・ 湖南市 講師（窓口：危機管理課に講師派遣を相談する）
- ・ 彦根气象台 講師（HPから直接申し込む）
- ・ 自衛隊 講師（窓口：危機管理防災課に相談する）
- ・ 大阪ガス 講師（HPから直接申し込む）

◎湖南省

- ・新任消防団研修を体験（消火栓取扱い、初期消火等） 窓口：湖南中央消防署
- ・土嚢づくり、土嚢積み 窓口：市土木建設・危機管理防災課
- ・ロープワーク 災害 v c 運営隊員・みどりの村区 講師：崎さん

③ 先進地視察

- 実施時期は、新幹事を迎え懇親の意味合いも含め、コロナ感染状況を見て、早期に実施できた方が有効、6月
  - ・人と防災未来センター（神戸市）及び兵庫県広域防災センター（三木市）
  - ・名古屋市港防災センター（愛知県） など

④ その他（新しく取組むべき課題など）

- 連絡体制の確立が大事。  
新幹事の名前、選出区名、自宅電話、FAX 番号【有無】 携帯電話番号（スマホ、アナログの別）、LINE でのグループ、パソコンアドレス（Eメール）、携帯電話アドレスなど全幹事に記載提出して貰い、事務局で管理する。
- 幹事で名を連ねていながら、年間一度も行事に参加しない幹事も居られる。  
選出区で、参加できる幹事を選考して欲しい。

(6) 次回 会議予定

・定例幹事会

- 第3回 10/20（木）19:00～21:00 於：サンライフ甲西大ホール
- 第4回 12/15（木）19:00～21:00 於：サンライフ甲西大ホール

・定例 第4回スキルアップ委員会

- 定例幹事会の1週間前の月曜日 於：菩提寺まちづくりセンター
- 12/05（月） 19:30～21:00

以上